

# おぼれた男性救助した 男女8人を表彰

13日東京・  
上野消防署

不忍池で昨年12月31日に発生した水難事故で、おぼれた栃木県の公務員男性Ⅱ当時(44)Ⅱを救助し、救急隊が到着するまで適切な応急手当てを行い男性の救命に貢献したとして、東京都消防庁第六消防方面本部は13日午後、救助に携わった台東区内の男女8人に消防協力者表彰を贈った。表彰式は上野消防署で行われ、山田太郎消防次長が「迅速、的確な連携で1人の命が救われた。隊員一同、深い感激を受けた」と謝辞を述べ、表彰状を手渡した。

表彰を受けたのは、それぞれ台東区内在住の会社員堀田龍也さん(28)、会社員天野三鶴さん(28)、大学2年生吉野和美さん(20)、上野中1年の高橋伸明君(13)、宮脇康一君(12)、看護師松橋尚子さん(27)、同笠原晶子さん(28)、同影山知美さん(26)の8人。表彰式には全員が出席し、山田次長から1人ひとり表彰状を受け取った。

水難事故が発生したのは、12月31日午後2時50分ごろ。台東区不忍池の遊歩道を歩いていた、栃木県の公務員男性Ⅱ当時(44)Ⅱが足を取られて池に転落。堀田、天野、吉野さんの3人がいち早く助けを求める男性に気が付いて池から引き上げたが、男性が気を失ったため、近くで遊んでいた高橋、宮脇君の協力を得て、専門知識を持つ人はいないかを周辺で探索。たまたま通りかかった松橋、笠原、影山さんが中心となり、救急隊が到着するまで心肺そ生法を行ったという。

8人の迅速かつ的確な連携プレーが功を奏し、男性は区内の病院に運ばれて無事、一命を取り留めた。山田次長は表彰式で、救命現場に居合わせる人々、通称、バイスタウンダー、による救命の必要性を強く語り、受賞者に同本部が実施する救急救命講習会へのさらなる理解と協力を求めた。受賞者は表彰状を手に、神妙な表情を見せていた。

# おぼれた男性救助した 男女8人を表彰 13日東京・上野消防署

不忍池で昨年12月31日に発生した水難事故で、おぼれた栃木県の公務員男性11当時(44)を救助し、救急隊が到着するまで適切な応急手当を助けた男性の救命に貢献したとして、東京都消防庁第六消防方面本部は13日午後、救助に携わった台東区内の男女8人に消防協力者表彰を贈った。表彰式は上野消防署で行われ、山田太郎消防次長が「迅速、的確な連携で1人の命が救われた。隊員一同、深い感激を受けた」と謝辞を述べ、表彰状を手渡した。

表彰を受けたのは、それぞれ台東区内在住の会社員堀田龍也さん(28)、会社員天野三鶴さん(28)、大学2年生吉野和美さん(20)、上野中1年の高橋伸明君(13)、宮脇康一君(12)、看護師松橋尚子さん(27)、同笠原晶子さん(28)、同影山知美さん(26)の8人。表彰式には全員が出席し、山田次長から1人ひとり表彰状を受け取った。

水難事故が発生したのは、12月31日午後2時50分ごろ。台東区不忍池の遊歩道を歩いていた、栃木県の公務員男性11当時(44)が足を取られて池に転落。堀田、天野、吉野さんの3人がいち早く助けを求め、男性に気が付いて池から引き上げたが、男性が気をついたたため、近くで遊んでいた高橋、宮脇君の協力を得て、専門知識を持つ人はいないかを周辺で探索。たまたま通りかかった松橋、笠原、影山さんが中心となり、救急隊が到着するまで心肺そ生法を行ったという。

8人の迅速かつ的確な連携プレーが功を奏し、男性は区内の病院に運ばれて無事、一命を取り留めた。山田次長は表彰式で、救命現場に居合わせ、る人々、通称「バイスタンプダー」による救命の必要性を強く語り、受賞者に同本部が実施する救命講習会へのさらなる理解と協力を求めた。受賞者は表彰状を手に、神妙な表情を見せていた。